

あとがき

私にとりまして 2011 年、最初の『あとがき』です。昨年の『あとがき』では異常気象について書くことが多く、『猛暑とゲリラ豪雨』と『短い秋と早い木枯らし・初雪』が異常気象のキーワードでした。年末から今年の年始にかけては『記録的な寒波と豪雪』がキーワードです。地球規模の温暖化と異常気象はどのように関連するのでしょうか？温暖化によって北極や南極の氷が溶け出し、水蒸気から形成された厚い雲によって、特に冬には太陽光が遮られ寒波や豪雪になるという説もあるようです。このような異常気象のなかで今年は大変な花粉大飛散の年になると予測されています。おそらくこの 3 月号が届く頃には全国の耳鼻咽喉科医は花粉症診療に追われて疲労困憊、この『あとがき』をお読みいただく余裕はないかもしれません。

さて、今月の特集は『耳鼻咽喉科専門研修をはじめる医師へー疼痛への対応』です。耳鼻咽喉科専門研修をはじめる医師のみならず、臨床の最前線では『疼痛への対応』は大きな問題です。疼痛はきわめてありふれた症状ですが、いまだ客観的、他覚的検査法がないため、その対応は容易ではありません。『痛み』とは何なのでしょう？国際疼痛学会では、『実際または潜在的な組織損傷に伴って起こるか、またはそのような言葉を使って述べられる感覚的・情動的な不快な体験』と定義しています。注釈の中では、『痛みは常に主観的』であり、『痛みを訴える患者の痛みの経験が、組織損傷に由来するか、情動的なものが含まれているかを区別することは困難である。患者が自らの体験を“痛い”という表現で訴えるのであれば、痛みとして受け入れられるべきである。』と記載されています。つまり、『痛み』は身体が傷つくことなどによって誰にでも起こる痛みもあれば、トルストイが『イワン・イリイチの死』で『「痛みはどこへいった？ おい痛みよ、おまえはどこにいる？」彼は痛みに注意を向けて見た。「ほら、ここだぞ。かまうな、痛みなど放っておけ』』と述べているようなきわめて主観的な痛みもあります。つまり、疼痛への対応では単に身体的診療のみならず心身医学的な視点で診療を行う必要があるということでしょう。本特集でもさまざまな疼痛について大変わかりやすく興味ある解説がなされており、専門研修をはじめる医師のみならず、臨床の最前線で奮闘するベテランにも読みごたえのある内容です。疼痛についての最新の知見を再認識していただければ幸いです。原著は 9 編の症例報告ですが、いずれも力作です。多忙な花粉症診療の合間にぜひ一読されることをお勧めします。

それでは花粉症診療から解放されて、少し落ち着いた 3 か月後にまたお会いしましょう。

(小川 郁)

編集顧問

大和田健次郎

佐々木 好 久

曾 田 豊 二

坂 井 真

竹 中 洋

八 木 聡 明

編集委員

吉 原 俊 雄

小 川 郁

丹 生 健 一

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 (第 83 巻 第 3 号)

発 行 株式会社 医学書院

2011 年 3 月 20 日発行 (毎月 1 回 20 日発行)

代 表 者 金原 優

定価 2,730 円 (本体 2,600 円 + 税 5%)

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5710 (担当 西塚・安部)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802 (編集室)

E-mail: jikotokei@igaku-shoin.co.jp

振替口座 00170-9-96693 番

印 刷 所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (有)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

〔2011 年年間購読料 (増刊号を含む 13 冊, 税・送料込)〕
冊子のみ 39,950 円 冊子+電子版 52,000 円
電子版/個人 39,950 円 電子版/共有 45,950 円

・医学書院ホームページ(インターネット)は

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/> です。

・「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」のページは

<http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jikotokei/> です。

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2011, Printed in Japan

・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信 (送信可能化権を含む) に関する許諾権は医学書院が保有しています。

・ **JCOPY** <(社)出版者著作権管理機構 委託出版物>

・ 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。